

# こども相談室

千葉県小児科医会公衆衛生担当 理事 中山 義雄 医師



## こどもの新しい予防接種

**Q** 平成20年にヒブワクチンが発売されました。またこれから肺炎球菌ワクチン、HPVワクチンが発売されるようですが、それはどのようなワクチンでしょうか。

### A ①ヒブワクチン

インフルエンザ菌b型(Haemophilus influenzae type b)の頭文字を取りHib(ヒブ)と言います。これは細菌ですが、今話題になっているインフルエンザはウイルスですので全く別のものです。このインフルエンザ菌b型は特に乳幼児の髄膜炎や喉頭蓋炎などの怖い病気の原因となります。米国の報告ではこのワクチンによりインフルエンザ菌b型全身感染症が99%減少しています。また副反応は局所の発赤・腫脹など軽微ですので、是非受けていただきたい予防接種の一つです。接種時期は生後2か月より3回接種し1年後に追加として1回接種します。またこの時期には3種混合等、受けなくてはならない予防接種も多いので、他のワクチンと同時に接種することも出来ます。

現在生産量が少なく、接種まで数か月待たねばなりません。1～2年後には十分量が供給される予定です。

### ②七価肺炎球菌ワクチン

小児の細菌性髄膜炎の原因菌として2番目に多いのが、この肺炎球菌です。また近年、肺炎や中耳炎の原因菌として、抗生物質の効かない肺炎球菌が増えて、治療に難渋することがありますが、このワクチンを接種することで予防することも出来ます。接種回数は、生後2か月以降に初回3回接種し、1年後に1回追加接種します。副反応は注射部位の発赤・腫脹が主で重大な副反応は認められてい

せん。早ければ平成22年3月に発売され接種できるようになります。

### ③ヒトパピローマウイルスワクチン

明らかにがんと関係のある物質及び微生物は、たばことパピローマウイルスです。近年増加傾向にある子宮頸がんはほぼ100%このパピローマウイルスにより引き起こされますが、このワクチンを接種することにより高率に予防できます。対象は10歳以上の女性で通常3回接種しますが、なるべく早期(14歳位まで)の接種が望まれます。

平成21年12月に発売されました。

## こども急病 電話相談

受診した方が良いのか、  
様子をみても大丈夫なのか、  
看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

ブッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、局番なしの

# #8000

#8000は、銚子市及び旭市の一部(旧飯岡町・旧海上町)の地域からはご利用いただけません。

●ダイヤル回線、#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合  
☎043(242)9939

●相談日時  
毎日・夜間 午後7時～午後10時

緊急・重症の場合は迷わず「119」へ

お子さんの急な病気で心配なとき

局番なしの#8000または、043(242)9939

看護師・小児科医が電話で相談に応じます。

実施：千葉県 千葉県医師会